

ご存知ですか？

声の広報



▲朗読グループ「いずみ」のみなさん

広報広聴係 ☎(63)21200

市では、朗読グループ「いずみの会」の協力を得て、毎号広報がぬまをカセットテープに吹き込んだ「声の広報」を目の自由な人に届けています。声の広報を聞いてみたいと思ったら、気軽に広報広聴係へお申し込みください。

「声の広報」お届け方法

① 声の広報を希望する人は、広報広聴係へ申し込んでください。
(すでに届いている人は申込の必要はありません)

② 毎月10日号と25日号の内容を吹き込んだカセットテープを、専用の黒いケースに入れて郵便でお届けします。

③ 聞き終えたら、テープを専用ケースに入れ、宛名を裏返し、市社会福祉協議会宛にして郵便ポストに投函します。



私たちが声の広報をお届けしています！

声の広報の吹き込みを担当している朗読グループ「いずみ」のみなさんに話を聞きました。

Q 声の広報はいつから始まったのですか？

私たちは、声の広報の吹き込みを昭和52年の7月10日号から欠かさず行っています。当初は、スタジオなどもなく、雑音が入らないように夜中に押入れの中で録音をしたこともありました。あれから、31年。広報紙の吹き込みは、今回の12月25日号で通算号775号を数えることになりました。

Q 声の広報は、どのように作っているのですか？

19人の会員が3、4人のグループに分かれて、順番で吹き込んでいます。毎月発行日の前後に、市民情報センターのスタジオで収録しています。
20〜24ページの内容を45分程度に要約して、カセットテープに吹き込んでいるのですが、吹き込みの作業は、ほぼ1日がかかります。



▲研修では、発声や文章の読み方を学びます。

Q 心がけてほしいことは？

広報紙は、文章だけではなく図や写真を使い、見て分かりやすいように作られています。しかし、声の広報は聞いただけで理解することができなければ、その役割を果たしません。

そのため、書かれている文章をそのまま読み上げるのではなく、内容が伝わるように表現することを心がけています。定期的に専門の講師を招いて朗読研修会なども行って勉強しています。

Q 今後の活動の抱負を！

これからも「分かりやすい声の広報をお届けします」をモットーに会員一同がんばっていきます。また、随時会員を募集していますので、興味を持った人はぜひ、参加してください。私たちと一緒に楽しく「声の広報」を作りましょう！